

第4回未来ビジョン会議

- 1 日 時 平成29年10月11日（水）午後7時から午後8時30分
- 2 場 所 伊東市役所8階大会議室
- 3 出席者 伊東市未来ビジョン会議委員13人（欠席5人）
市長、若山副市長、佐野副市長、教育長、市長戦略監、企画部長、
子育て支援課長、幼児教育課長
- 4 意見交換 内容は以下のとおり

（行政経営課長）

皆さん、こんばんは。

定刻になりましたので、ただいまから、平成29年度 第4回未来ビジョン会議を開催いたします。

本日はご多用の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

※欠席委員の報告

それでは、小野市長から挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

（市長）

皆さん、こんばんは。

今日も大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

今日はいつもと装いを違えまして、グループごとに分かれていただきまして、子育て支援施策を中心に協議を進めていただきたいということでございます。

これでもう4回目になりますが、いろいろな方から評価をいただいております。それは、この会議があるということではなく、皆さんからいろいろな意見が出るということで各層からも高い評価をいただいております。これからも、ぜひ、この会議の趣旨をしっかりと理解していただき、もっともっと活発な意見を出していただければ、高まる市民の期待やこれからの時代に合ったもの、そういうものをみんなで作っていくことを示していけるのではないかと考えております。

その代表である皆様が、夜間になりますが、このように時間をとっていただきまして、本当にありがたいと思っております。今日からワーキンググループに分かれて進めていただきますが、どんな施策が提案されてくるのか非常に楽しみにしておりますので、ぜひ、フリーな意見を出していただければと思っております。また同時に、普段は余り接点のない方々が一緒の机にいらっしゃると思いますが、ぜひ、いろいろな意見を交わす中で、楽しんでいただいて、親交も深めていただきたいと思っておりますので、有意義な時間となりますようお願いを申し上げます。

簡単ですが、冒頭の挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

（行政経営課長）

ありがとうございました。

ここで、小野市長及び副市長、教育長は退席となります。

（市長、副市長、教育長 退席）

それでは、事前にお伝えしてありますとおり、本日はワークショップを行います。まずは改めましてテーマ等の説明を杉本市長戦略監からいたします。

(市長戦略監)

皆さん、こんばんは。

協議の時間をなるべく長く取りたいので、説明は簡単にさせていただきたいと思います。

前回、皆様方から伊東市の子育て支援や教育支援施策についてご意見を伺いました。

それを基に、今日は、伊東市が今後どのような施策を進めていったらいいかということについて、皆様方で協議いただき、それをまとめていただきたいと思います。

それで、できましたら次回、それを発表していただきたいと思いますのですが、どうしてもまとまらないということであれば、次回ももう1回、このような形でグループワーク、ワークショップを行うことも考えております。それについては、今日の会議が終わるときに皆さんのご意向を伺いますので、そのときにご意見をお願いいたします。

それで、市長からの挨拶にもありましたとおり、これまでの未来ビジョン会議の中では、このような形で委員の皆様方同士で会話する場が余りなかったので、そういう意味では、今日、これを機に委員の皆様方がどのように考えているのかとか打ち解ける場にも活用していただきたいと思います。

また、本日も子育て支援課長と幼児教育課長が同席しております。子育て支援策など細かいことやいろいろなことでわからないことがありましたら、どんどん遠慮なくご質問ください。皆様のところへ行って説明をいたします。

これから、事務局から進め方について説明をいたしますので、よろしく願いいたします。

(行政経営課長)

ありがとうございました。

それでは、ワークショップの進め方について、事務局から説明します。

(事務局)

それでは、ワークショップの進め方について説明いたします。

事前に配付しておりますワークショップの進め方と政策立案シートをご覧ください。

始めに、グループ分けでございます。

既に皆様にご着席していただいているとおり、3つにグループ分けをさせていただきます。このグループで政策を考えていただきます。未来ビジョン会議を開始して以降、このようなグループ形式での協議は初めてでございますので、まずは、各グループの中で改めて挨拶や自己紹介等を行っていただき、その後、進行役、書記、発表者を決定してください。時間は計測いたしません。概ね5分程度でお願いいたします。

次に、役割が決まりましたら、そのままの流れで協議に移っていただきます。

次回の政策の発表は、政策立案シートを用いて行っていただきますので、協議した内容のまとめを政策立案シートにて行ってください。政策立案シートの項目欄にあるとおり、課題や問題、背景等について、前回の資料「伊東市の子供をとりまく状況」や「市の子育て支援施策・教育支援施策一覧」なども活用しながら、今一度、グループで整理、分析を行ってください。そこから見えてくる政策、つまり、それら課題等を解決し、かつ、効果を上げ

ることができる政策を考えてみるといいかもしれません。しかし、効果を上げるだけでなく、そこには懸念事項等も考えられるため、その懸念事項や懸念事項に対する対応策についても考えていけると政策の中身はより膨らんでくるかと思います。なお、本日は、幼児教育課長、子育て支援課長にも出席をいただいておりますので、現状について質問等があれば、その都度質問いただければと思います。

今申し上げた組み立てを行うに当たり、参考として、5W1Hによる手法やSWOTによる手法を記載してあります。例えば簡単な例で申しわけありませんが、5W1Hの手法については、部活動に掛かる費用が増加して保護者の負担が大きくなっているという現状、課題があって、そういうところへの補助が少ないから補助金を支出しよう、ただ、1家庭ごとそれぞれの家庭に直接補助は難しいので連盟等に補助する方法を採ろうといった形です。

SWOT分析については、参考までに札幌市の資料を配付してありますので、イメージはそちらを参考にしてください。

なお、この政策立案シートでまとめづらいなどの場合は、この様式にこだわらなくても結構です。

また、各机にA3用紙や付箋等を置いてありますので、適宜、活用いただければと思います。

最終的なゴールの部分、つまり、どのような政策にするのかについては、いろいろな考え方があろうかと思います。例えば、新たに一軒家を建てるといったように、全く新たに1から政策をつくるという考え方、または、今の家は気に入っているから、さらに増築していきたいなどのように、すでにある政策の強みをさらに伸ばしていくという考え方、それから、今の家をリノベーションしたいというように、すでにある政策のとある部分を改善していくという考え方など、考え方は、各グループで変わってくるかと思いますので、各グループでどのようなゴールを目指すかによって、議論も少し変わってくるかと思います。

例えば、前回、皆様の意見で、現状の子育て支援施策に一定の評価をいただいているような声はかなりありました。一定の評価をしているからこそ現状の今ある子育て施策をこんなふうに拡充していこうとか、ここは改善できるのではといったような考え方ができます。これが、さきほど申し上げた中の政策の強みを伸ばす考え方や改善していくという考え方に当たろうかと思います。議論が活発化して、政策が複数できてどちらかに絞るのは難しいといったことももしかしたらあろうかと思います。その場合は、複数提案いただいて結構です。

以上、雑駁な説明ではございますが、初めてのワークショップでなかなか難しい部分もあろうかと思います。ただ、基本的には、市長の話にもありましてとおり、前例にとらわれずに自由な発想で考えていただければと思います。例えば、コストを考えるのももちろん大事ですが、そこを突き詰めすぎると、視野や発想がぐっと狭まることもあるかと思います。そういった部分も気にしないでと言ったら言い過ぎかもしれませんが、少し柔らかく考えていただければ結構ですので、伸び伸び楽しんでディスカッションをしていただければと思います。

以上です。

(行政経営課長)

事務局からの説明は以上になります。

それでは、それぞれのグループでワークショップを開始していただきたいので、よろしくお祈りします。

(ワークショップ実施)

お時間となりました。ワークショップを終了してください。

各グループから次回もワークショップの実施を希望する意見がありましたので、次回も引き続きワークショップを実施し、その中でまとめていただきたいと思います。

それでは、次回は10月24日火曜日午後7時から午後8時30分の開催となります。

改めて開催通知を送付いたしますが、次回、会議の会場は5階会議室となります。開催通知には記載いたしますがご注意ください。

以上で第4回未来ビジョン会議を終了いたします。

お疲れさまでした。